**エクアドル定期報告（経済概況　２０１４年１月）**

**１．消費者物価指数（速報値）の発表**

国家統計調査局（ＩＮＥＣ）は，２０１３年１２月の消費者物価指数変動率（速報値）を０．２０％と発表した。これにより，２０１３年の消費者物価指数年間変動率（速報値）は，２．７０％となり，２００５年以降最も低い数値となった。

**２．２０１３年の税収**

７日，カラスコ国税庁（ＳＲＩ）長官は，２０１３年の税収が，昨年より１３％増加し，１２７億５，８００万米ドルに達する見通しである旨発表した。

**３．２０１３年の関税収入**

１３日，エクアドル税関（ＳＥＮＡＥ）は，２０１３年の関税収入が，昨年より４．５％増加し，３６億８００万米ドルに達する見通しである旨発表した。

**４．ＥＵとの通商協定交渉**

（１）１３日から１７日まで，ブリュッセルにてエクアドル・ＥＵ通商協定第１回再開交渉が行われた。エクアドルからは，リバデネイラ貿易大臣，ラミレス国家高等教育科学革新庁長官及び交渉チームが出席し，農産品，政府調達，知的所有権，原産地証明など幅広い分野が話し合われた。第２回再開交渉は，エクアドルにて行われる予定。

（２）ＥＵとの通商協定交渉は，当初はアンデス共同体とＥＵの間で交渉が行われていたが，２００８年にボリビアが離脱したことで個別交渉となったが，エクアドル産バナナの関税を巡り交渉が難航し，２００９年７月エクアドル政府側から交渉を凍結していた。

（３）２０１３年４月に訪独したコレア大統領は，メルケル独首相との会談の際に交渉再開へ意欲を見せていたものである。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（了）